



# さわやか相談室だより



令和元年6月3日発行 第3号 行田南河原中学校

さわやか相談室 048-557-0302

長い五月連休も終わり、学校周辺も新緑のさわやかな風景になりました。日差しの暑い日も多くなり、体力も消耗しがちになりますので、十分に水分補給して脱水症状にならないように気をつけて下さい。

中間テストも終わり、1年生は学校に少しずつ慣れて、希望を胸に勉強や部活に取り組む姿が見えました。今年から『行田を知ろう』という体験と『ゼリーフライ作り』はとっても楽しみです。2年生はすっかりたくましくなりました。『東京校外学習』にみんなで協力してチャレンジし、心に残る体験を楽しんで下さい。3年生は修学旅行の役割準備をみんなで仲良く頑張ってください。また学校総合体育大会が始まります。これまでの練習の成果を発揮できるように、体調と心とみんなの力を合わせ精一杯頑張ってください。また、行事の多いこの時期は、しっかりと睡眠を良く取り、参加できるように心がけましょう。



「今」は「過去」の積み重ね  
「未来」は「今」の  
必ず、次に進める

「今」は「過去」の積み重ね  
「未来」は「今」の  
必ず、次に進める

ベストを尽くす。

ひつひつひつ

目の前のこと

今日やること

明日を信じて

自分を信じて

「今」



## スクールカウンセラー来校日

6月 7日(金)・21日(金)

橘先生にお話を聞いてもらいませんか？  
さわやか相談室は1階会議室の隣です。

保護者の方は事前にご連絡下さい。

生徒さんは昼休み・休み時間などを利用し、相談  
に来てください。



\* 相談員のつぶやき \*

1学期は楽しいこといっぱい。みんな  
で楽しんでね！

## 叱るのは逆効果

子育ては育てる、教育する、しつけるなど場面が多く、こまごま口うるさい育て方をすればするほど、子どもは叱られることを避けようとして、日常生活でウソをつくことが多くなっていきます。

大切なことは、子どもが親に何を望んでいるか感じ取ろうとすること、親が自分のことを分かってくれているという手ごたえや実感を子どもが持つことです。

厳しく叱りつけられれば、それだけで悪いことをしない子供になっていく訳ではありません。母親の愛情が穏やかにしっかり伝わるような対応をするべきです。その方が子どもの心のうちに、叱られるようなことは、しないでおうとうという気持ちが、育ってくるものなのです。

悪いと分かっていることをしてしまった時に、気持ち良く「ごめんなさい」と言える子どもに育てることが、ウソをつかない子どもに育てることにつながるのです。

そのために必要なのは、決して厳しく叱ることではないのです。子どもを育てるうえで起こしてしまう失敗は、言い過ぎや叱りすぎなどの、副作用によることが多いのです。

見栄や世間体より、子どもの自尊心を守りましょう。どうしても叱らなければならない時は、自尊心を傷つけないことは最大限に努力をして、必要な配慮や手加減ができることが子どもの成長に、寄り添う愛情につながります。